

取組事例(東北農政局)

No.	事業者名	所在地	取組内容	売上高	雇用者数(名)
1	SKファーム株式会社	青森県つがる市	生産した寒冷地向けもち性六条大麦「はねうまもち」(以下「もち麦」という。)を自社精麦施設で加工し、精麦商品及び精麦時に出る副産物(外皮粉)を販売している。	5億7,200万円	17
2	松原農場 松原久美	岩手県岩手郡雫石町	自家産堆肥を使用した自社農場の牧草を給餌する循環型農業を実践し、生産した朝搾りミルクでジェラート、ヨーグルトを製造し、自社直売所、インターネット及び近隣デパートで販売している。	4,284万円	15
3	あらはま海苔合同会社	宮城県亶理郡亶理町	生産した海苔を自社加工場で焼き海苔、ばら干し海苔、味付け海苔に加工し、近隣の直売所や加工場に併設した直売所で販売している。	2億651万円	14
4	株式会社そば研	秋田県雄勝郡羽後町	耕作放棄地の解消を図るため、地域と一体となってそば栽培を推進し、生産したそばは玄そばでの販売のほか、自社製粉施設でヌキ実やそば粉に加工。主に関東の製粉会社と連携して業務用として販売している。	1億4,800万円	18
5	株式会社 やまがたさくらんぼファーム	山形県天童市	さくらんぼを中心とした世界に誇れる山形のくだものを活用し、県内最大級の観光果樹園と直営のカフェやショップの経営、ワイン、ジュース等の加工品の製造・販売に取り組む。	2億6,800万円	20
6	有限会社舟形マッシュルーム	山形県最上郡舟形町	自社生産のマッシュルームを活用し、水煮やうま煮等のほか、業務用のマッシュルームパウダー、エキスなど多様な加工品を製造・販売。平成29年度に直売所併設のレストランを開設。	12億9,000万円	130
7	株式会社モス山形	山形県山形市	耕作放棄地を利用し、コケの栽培とコケ緑化商品の開発・販売を行っているトップ企業である。建築用の緑化資材も開発し、大都市圏のビル等の緑化や緑化資材等の販売を行っている。	1億3,500万円	18
8	有限会社まるせい果樹園	福島県福島市	40品種以上の果樹を生産し、直売所、観光果樹園のほか、生産した旬の果物を提供する農家カフェに取り組んでいる。	1億2,500万円	25

令和元年度、令和2年度の6次産業化優良事例表彰において受賞された事業者
下記URLに取組事例を掲載していますので、ぜひご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/renkei/6jika/good_practice_awards.html

受賞年度及び受賞名	事業者名	所在地	取組内容	売上高	雇用者数(名)
令和元年度 食料産業局長賞	有限会社伊豆沼農産	宮城県登米市	地域の農業者で組織し、自社ブランド「伊達の純粋赤豚」の養豚部門、水稻、ブルーベリー等耕種部門、食肉、総菜、アイスクリーム、パン、酒類等多様な加工部門、農業レストラン、直売マーケット、外販、通販等販売部門、更には生ハム体験工房等農泊・食農体験部門を展開。ハムの輸出により海外からも高評価を獲得。インバウンド等観光需要にも対応。	5億200万円	40
令和元年度 奨励賞	秋田やまもと農業協同組合	秋田県三種町	水田転換作物として導入したそら豆の規格外品を活用した、国内初の豆板醤を開発から生産・販売まで行っている。国産の豆板醤がないことに着目し、原材料を秋田県産にこだわり、差別化を図った点が高く評価された。	57億3,700万円	126
令和元年度 奨励賞	株式会社そば研	秋田県羽後町	中山間地における耕作放棄地を活用して玄そばを栽培。生産から販売まで行い、ヌキ実やそば粉を中心とした加工・出荷体制を構築し、付加価値を高めて販売している。里山を守り、農地を農地として次世代に残すというコンセプトのもと、そばを栽培することで耕作放棄地の解消を図った点が高く評価された。	1億4,300万円	18
令和2年度 食料産業局長賞	合同会社ねっか	福島県只見町	農家5軒が協力し、米焼酎製造会社を設立。日本酒の吟醸作りの技術を用い、不可能と言われていた吟醸香の香り高い米焼酎の開発に成功するとともに、日本初の全量自社米のみでの米焼酎製造に成功。JGAP認証を取得した自社圃場で生産から醸造までの一貫製造は日本で唯一。香港、イギリス、オーストラリアへの輸出も展開予定。	5,800万円	7